WA!

No.6

きみはどこにいるかな！

第40回　報恩講子ども大会　平成19(2007)年10月20日

第40回報恩講子ども大会

…報恩講子ども大会…御礼

平成十九年十月二十日。報恩講子ども大会が広島別院で開催され、大盛況のうちに無事に終えることができました。

このたびは第四十回の記念大会ということもあり、四〇〇人以上の子ども達が参加してくれました。若者の寺離れが嘆かれている昨今であるにもかかわらず、仏の子どもたちが集まって、同じ時間をともにしました。別院の阿弥陀さまの前で、法話にゲームにアトラクションと楽しんでいる子どもたちの姿を見ると、間違いなくここにもお育てがはたらいているのだなと慶ばせていただいたことでありました。

仏の子どもとは、年齢上の子どものことではなく、阿弥陀さまを親とした、我々全員を「仏の子ども」と言うのであります。このたびは、せんえつながら実行委員長という立場で参加させていただきましたが、子ども達と一緒に楽しい時間が過ごせたことを、本当にありがたく思うことであります。

また、午後からのアトラクション「ザ・わたしたち」の皆さんによる歌と演奏では会場の子ども達がひとつになる時間を過ごすことができて本当によかったと思います。

これから、五〇回、一〇〇回と続いていかなくてはならない「報恩講子ども大会」であります。いろいろな意見をお聞かせいただきながら、少しでも皆様に慶んでいただける大会にするよう励んでいく所存でございます。どうぞ、来年もぜひご参加くださいますようお願い申しあげます。

最後に、本大会を開催するにあたり、協力してくださった各寺院、また、スタッフとして参加してくださった皆様方に厚く御礼申しあげます。本当にありがとうございました。

報恩講子ども大会
実行委員長　米田　順昭

ほとけの子あつまれ！

開会式では、最禅寺日曜学校の山本さん、藤井さんが調声をつとめ、一同で「らいはいのうた」を唱和。別院本堂に子ども達の元気なおつとめの声が響いた。

続いて菅知尚先生より「名前を呼ぶこと、呼ばれることの尊さ」をテーマとしてご法話があり、参加者一同が真剣に聴聞した。

その後、境内や大会議室を中心とした「わいわいランド」に場所を移し、食事やゲームなどを楽しんだ。わいわいランドでは今回から新たに「ビーズ作りコーナー」が開設された。特に女の子に好評だったようで、日曜学校OB・OGの高校生スタッフ指導のもと、子ども達は真剣に腕輪を作り上げ、さっそく腕にはめて友達同士で見せ合う姿が見られた。

午後からはヒューマンソングループ「ザ・わたしたち」の皆さんによるアトラクションが行われた。生演奏による歌とパネルシアター形式のクイズ、歌に合わせて手足を動かしたりと、あっと言う間の五十分間となった。また、閉会後は、四十回の記念大会ということで、境内において記念撮影が行なわれ、一日のプログラムを終了した。

あのころの子ども大会

『苦い思いの貴重な体験』

安芸教区に日校連盟が結成されて約三十年になると思います。その創生期に推進委員としてかかわり、機関紙企画部会・指導者学習会企画部会・成道会子供大会企画部会をそれぞれ担当させていただきました。

成道会子供大会の部長を担当したのは二年目のことです。この時に私は苦く貴重な経験をしました。それは連盟が結成される以前より、成道会子供大会は開催されており、お手伝いをしたこともありましたので、私は例年と同じように行えばいいのだと簡単に考えていたのです。開会式では各単位会のプラカード入場・献灯・献華・献香・日校生代表の調声で「らいはいのうた」・委員長挨拶・仏婦連盟委員長挨拶、午後からはレクリエーション・ビデオ・閉会式と…

私がつまずいたのは進行表を作るときでした。司会者が参加した子ども達にどのように語りかけていくかで、行事全体の雰囲気ができあがっていくのです。言葉を変えれば、どのような子供大会にしたいのかという私自身の基本的な姿勢が、そこに問われていたのです。恥ずかしいことですが、進行表を作っているときにこの課題に突き当たりました。

結局、成道会子供大会に参加できて「うれしい」という喜びの思いをもって、司会者に語りかけていただきました。打ち合わせの時に私の意を汲んでくださったスタッフから、「それでは、お勤めのときに代表者が散華をしよう」と提案がありました。

他の委員の方々のお力添えをいただいて、子供大会を進めていくことができました。苦く貴重な体験をさせていただいたことが懐かしく有り難く思い出されてまいります。

元成道会子供大会企画部長
東広島組 専立寺 和泉 浄史

『報恩講子ども大会について』

平成六年、広島別院が修復されて二年ぶりに「子ども大会が開催」されました。このとき、当時の少年連盟委員長の大佛尚道氏（山県東組　教得寺）から「子ども大会」の実行委員会を立ち上げて開催したいとの意向を受けて、推進委員会で協議しました。

それまでの「子ども大会」はお釈迦様の成道の日にちなんで、「成道会子供大会」と称しておりました。当時は全青協（全国青少年教化協議会）の補助を受けて開催しており、崇徳高校の体育館で元広島カープの山本浩二・衣笠幸雄選手をゲストとして華やかに開催された事もあったようです。

そのようなことをふまえて、「子ども大会」を再検討して、成道会は、お釈迦様のお悟りの大切な日ではあるけれども、もっと参加される子ども達にわかりやすく、浄土真宗本願寺派広島別院で開催するにふさわしい名称「報恩講子ども大会」に改名しました。

その他テーマの子供の国の【お祭り】は違和感を覚えるとか、ワイワイランドの屋台で肉類を出すのは、おかしいのではと意見が出ましたが、各単位会にて報恩講についてしっかり話したうえで参加してもらうことになりました。式典についてもお勤めが正確であること、法話の内容がわかりやすいこと、アトラクションは印象に残るものを基本に企画することなどと協議を進めたと記憶しております。

今、子どもを取り巻く環境は様々な意味で難しくなっています。この時代に「報恩講子ども大会」がご法義を伝える大切な行事となるように推進していただきたいと思います。

元報恩講子ども大会実行委員長
東広島組 西楽寺 福井 泰史

第40回報恩講子ども大会　フォトショット

しんらんさま ありがとう!!

広島別院で楽しい一日をすごしました。

大きな本堂でお参りしたよ。仏さまのお話も聴いた。
ゲームや屋台も楽しかったな♪
大きな声でわらったよ。阿弥陀さまもわらっていた。
「しんらんさまありがとうの日」に、みんなに遇えてよかった。
また来年も、みんなに会いたいな！

もぐもぐ。たくさん食べるぞ、おいしいなぁ～。

シュート！このボールの行方は？？？

素敵な色ばかり。どの風船にしようかな？

ひょい、的に当てて賞品ゲット！だー

●皆さんの少年連盟への情報やニュースを募集いたします（教務所 kyoiku@aki.or.jp まで）

発行日／平成19(2007)年12月21日　発行所／安芸教区少年連盟　広島市中区寺町1-19 本願寺広島別院内　代表者 委員長 鷹谷直至